

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

時ノ寿木組みの家

グループの名称

掛川の風景を創る会

直近採択グループ番号

06-0050-0419

(グループ代表者)

代表者名

清水 國雄

代表者印

代表者所属先

清水建築工房一級建築士事務所

代表者所在地

静岡県掛川市逆川

代表者電話番号

0537-27-0576

(グループ事務局)

事務局事業者名

清水建築工房一級建築士事務所

事務局担当者名

清水 佳子

印

事務局郵便番号

436-0084

事務局所在地

静岡県掛川市逆川473-1

事務局電話番号

0537-27-0576

事務局FAX

0537-27-0576

事務局担当者E-mail

info@shimizu-arc.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	時ノ寿木組みの家
2. グループの名称(必須)	掛川の風景を創る会
3. 直近採択グループ番号(必須)	06-0050-0419
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	静岡県中西部
5. 結成年(必須)	2013 年
6. グループ代表者名(必須)	清水 國雄
7. グループ代表者の所属先(必須)	清水建築工房一級建築士事務所
8. グループ代表者所在地(必須)	静岡県掛川市逆川
9. グループ代表者電話番号(必須)	0537-27-0576
10. グループ事務局事業者名(必須)	清水建築工房一級建築士事務所
11. グループ事務局担当者名(必須)	清水 佳子
12. グループ事務局郵便番号(必須)	436-0084
13. グループ事務局所在地(必須)	静岡県掛川市逆川473-1
14. グループ事務局電話番号(必須)	0537-27-0576
15. グループ事務局FAX番号(必須)	0537-27-0576
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	info@shimizu-arc.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	2	
II. 製材・集成材製造・合板製造	3	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	1	
IV. プレカット	1	
V. 設計	2	
VI. 施工	5	
VII. 木材を扱わない流通	1	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外	
			番号記入欄			
	<input type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	国産材	/	3	国内	
	<input type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外	
	<input type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する	外材		2	国外	
	<input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内	
	<input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内	
	<input type="checkbox"/> クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外	
	静岡県産材	大井川流域材、時ノ寿材		静岡県産証明制度	1	国内

※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。
 1.都道府県の産地認証制度等によるもの
 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等)
 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成16年2月)」に基づき合法性が証明されるもの
 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品(合法伐採木材等証明)

B. 平成30年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
	長寿命型	長期優良住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		5	戸		
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	5	戸		
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	1	戸		
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸			
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限100万円)		戸			
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸			
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸			
		高度省エネ型	性能向上計画認定住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)の申請戸数	今年度要望する戸数(上限110万円)		戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸		
						上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸		
					その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限110万円)		戸		
					加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸		
						上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸		
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限125万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限125万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸				
高度省エネ型	ゼロ・エネルギー住宅	未経験工務店(3戸(7戸)以下)による申請戸数	今年度要望する戸数(上限140万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算を要望(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世代同居加算を要望(上限30万円)	戸				
			その内9月までに交付申請が確実にできる戸数(上限140万円)		戸				
			加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)	戸				
				上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)	戸				
C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数		今年度要望する棟数及び面積		棟				
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積		棟					
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール(必須)	構成員工務店はすべて未経験工務店なので、原則、1戸/1工務店、且つ交付申請順。								
E. 平成29年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)								
	採択戸数	2	戸	交付申請戸数	0	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	0	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)								
	採択戸数	戸	戸	交付申請戸数	戸	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)								
	採択戸数	戸	戸	交付申請戸数	戸	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸	
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
採択戸数	戸	戸	交付申請戸数	戸	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸		
優良建築物型									
採択棟数	棟	棟	交付申請戸数	棟	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸		
採択床面積	m ²	m ²	交付申請床面積	m ²	m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積	m ²		

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 時ノ寿木組みの家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県中西部
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 掛川の風景を創る会	(結成年) 2013年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	06-0050-0419	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	○
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	◎
④①～③の背景	
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○

イ. 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】	◎、○ 記入欄
a	
①-1 用材の寸法規格化	◎
①-2 使用建材の統一	○
①-3 標準仕様の設定	○
②-1 建材・資材調達の共同化	
②-2 調達事務の合理化	
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	◎
b	
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	◎
c	
① 週休2日制の導入の取組	
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	
③ 社会保険への加入	○
④ 安全及び健康の確保のための取組	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	○

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 時ノ寿木組みの家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県中西部		
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 掛川の風景を創る会	(結成年) 2013 年		
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0050-0419			
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。				
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 住宅蓄積情報の蓄積			
	①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 別紙3、建物・土地基本データ及び住まいの履歴でルール化	○	
	①-2 情報サービス機関の活用	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 別紙3、建物・土地基本データ及び住まいの履歴で確認	○	
	② メンテナンス基準	②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 別紙3、定期点検フロー、定期点検シートに従って点検する。	◎
		②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 別紙3、維持管理補修シートに従って補修を行う。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 点検チームが定期点検・補修を行い書類を事務局に提出し、実施状況を確認する。	◎
	③ 住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴、定期点検フロー、点検シート、補修シートの内容をより深めるための勉強家検討	○
		③-2 DIY体験会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 別紙6に従い実施する。	○
		③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 別紙6に従い実施する。	◎
④ 維持管理委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 履歴、定期点検フロー、点検シート、補修シートの内容をより深めるために設置を検討	◎		
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:			
b	① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				
エ. グループの技術力の向上				
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄		
a	① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	②-1 品質管理のための共通ルール	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 施行現場からのフィードバックに照らした施行基準(別紙2)の改定作業を行うことをルール化する。	○	
	②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局へ施工基準の・チェックリスト表の提出などルールの確認手法を今後検討したい。	○	
	③-1 需給計画の策定	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 30年度、受注目標1~1.5棟、受注額は2,500~4,000万円 31年度、受注目標2~3棟、受注額は5,000~7,500万円 32年度、受注目標3~4棟、受注金額7,500~9,000万円。	○	
	③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: 勉強会の開催など検討したい。	○	
	④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
b	①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数 4 今年度の参加目標人数 1	○	
	①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数 今年度の参加目標人数		
	② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容: メンバー(設計者・施工者)に住宅省エネルギー地域リーダーがおり、研修会を通じ参加を促す。	○	
c	① 新たな技術等の導入	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
	② 新たな技術等の開発	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:		
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。				

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 時ノ寿木組みの家	(地域型住宅供給対象地域) 静岡県中西部												
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 掛川の風景を創る会	(結成年) 2013 年												
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	06-0050-0419													
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。														
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
a	地域材利用に関する													
①	共通 ルール(必須)	静岡県産材証明制度により認定された大井川流域材、掛川時ノ寿材のヒノキ・杉を使用する。												
②	地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	<input type="checkbox"/> 50%未満 <input checked="" type="checkbox"/> 50%以上 <input type="checkbox"/> 80%以上												
③	標準的な地域材の使 用部位(必須)	<table border="1"> <tr> <td>主要構造材</td> <td>土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td></td> <td>梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>羽柄材</td> <td>間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>造作材</td> <td>柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> <tr> <td>板材</td> <td>壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している</td> </tr> </table>	主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している		梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している	造作材	柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している	板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している
主要構造材	土台: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	柱: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
	梁・桁等の横架材等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
羽柄材	間柱、根太、垂木等: <input type="checkbox"/> 使用していない <input checked="" type="checkbox"/> 使用している													
造作材	柵材、廻縁等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
板材	壁板、床板等: <input checked="" type="checkbox"/> 使用していない <input type="checkbox"/> 使用している													
④	地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に關 する補足説明	地域材フロー図参照(別紙5)												
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:												
	①-2 地域材価格の共有の仕組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:												
	② グループ全体における地 域材の需給予測	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
c	①-1 畳の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 和室を設ける												
	①-2 和瓦の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容:												
	①-3 襖の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 古建具の活用												
	①-4 障子の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 古建具の活用												
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 掛川の伝統産業である葛布の活用、壁や天井紙として活用出来るか検討中。												
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 土間(たたき)を生活の場に取り入れる、夏の冷輻射源としての機能にも注目。												
d	① 地域の伝統的なデザ インを継承する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 遠州地域には、お釜屋(主屋・居室部分の軸組+屋根、釜屋・土間部分の軸組+屋根が接続している形態と呼ばれる屋根分棟型の住居(釜屋造り)が存在した、お釜屋は居住部と水回りを分けて、耐久性に関する解決策ともなっている、長寿命の住居を提案する上で、耐久性に関する工夫として今後生かしたい。												
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 釜屋造りでは、玄関脇の軒が深く張り出して「ノキバ」と呼ばれた、冬は日向ぼっこ、夏は日陰となり、近隣の住人との応接間の空間となっていた、深い軒は建物に陰影を作り出し、ファサードに深みを与えるなど、デザインと住まい方の両方に優れた手法だった、ノキバの復活も長寿命の住居を提案する上での取り組みとしたい。												
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 「ノキバ」のある景観・ノキバ廻りの仕上げは焼き杉或いは漆喰で仕上げるなどして、良質な街並み形成に寄与するデザインとして生かしたい。												
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	<input type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容: 日本の住居の特徴の一つは床に見ることが出来ると思う、床は、高さや仕上げの違いごとに異なる機能を持って発生し、土間(たたき)、板(座敷)そしてベッド・椅子・敷物の三つの機能を兼ね備えた畳をもって「和」のすまいが完成したといえるのではないかと、「時ノ寿木組みノ家」では「和」の要素として、土間・板座・畳のある住居を提案していきたい。												
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	どんなに材料を熟知し収まりや施工の質を上げてても、風雨地震などの自然災害を前に完璧に手だてすることは難しい、完璧を目指し努力することも重要だが、あり得ない完璧を目指すことより、意識と技量の高いチームで家を造り、定期的に維持管理の手を入れるという考えの方が長寿命の家にはふさわしく思う、それを推進する仕組みとして「掛川協働方式家守りシステム」の内容を整備中。												
カ. その他														
【平成30年度対応方針】		◎、○ 記入欄												
東日本大震災の復興に資する取組														
平成28年熊本地震の復興に資する取組														

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 時ノ寿木組みの家	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 静岡県中西部
2. グループの名称・結成年月 (必須)	<small>(グループの名称)</small> 掛川の風景を創る会	<small>(結成年)</small> 2013 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	06-0050-0419	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴 ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。 ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。		
<div style="border: 1px solid black; height: 750px; width: 100%;"></div>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。